



後期難波宮大極殿 復元CG

特別展

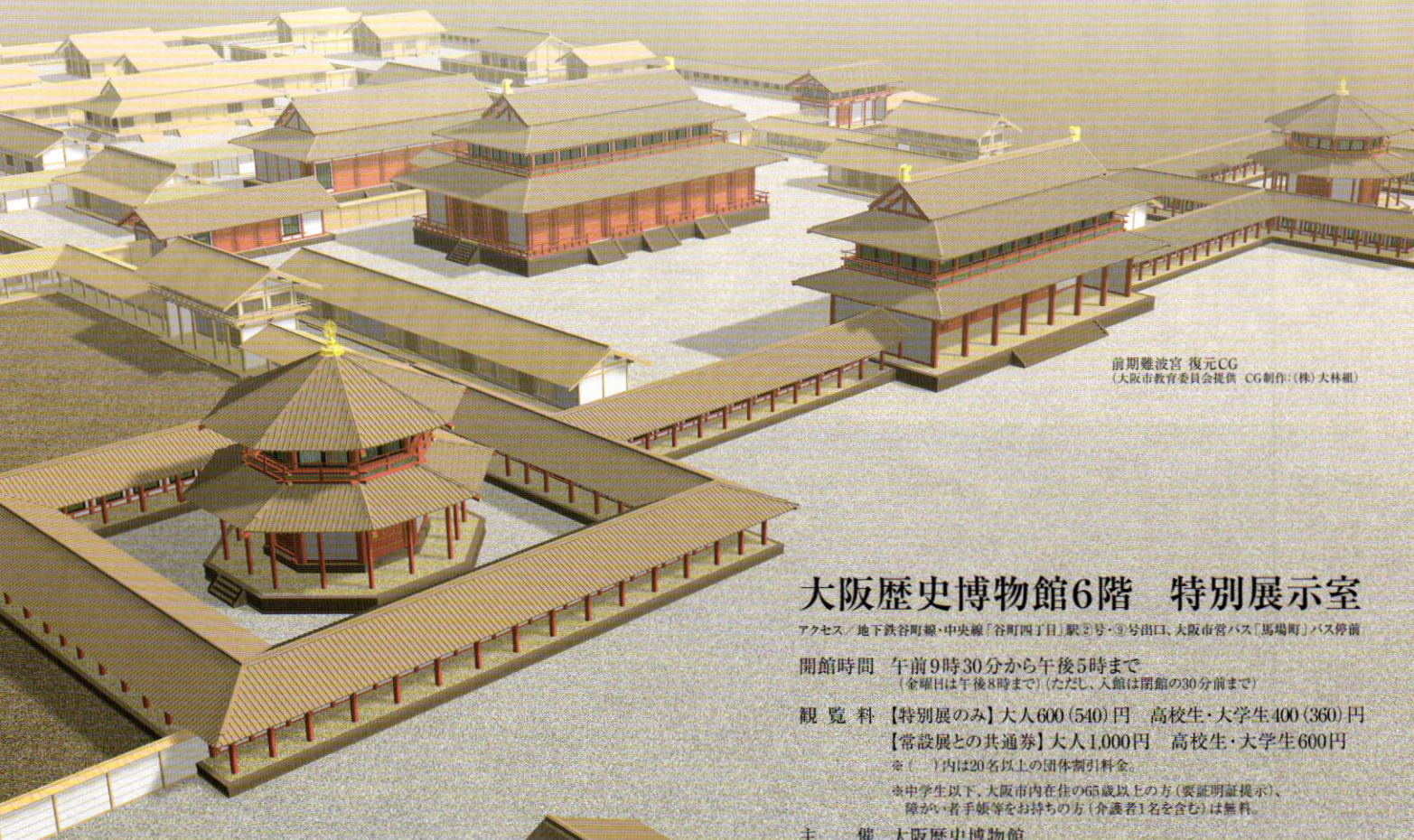
大阪
遺産

なにわのみや
難波宮

— 遺跡を読み解くキーワード —

平成26年6月21日(土)～8月18日(月)

※火曜日休館



前期難波宮 復元CG
(大阪市教育委員会提供・CG制作:(株)大林組)

大阪歴史博物館6階 特別展示室

アクセス/地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅2号・9号出口、大阪市営バス「馬場町」バス停前

開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(金曜日は午後8時まで) (ただし、入館は閉館の30分前まで)

観覧料 【特別展のみ】大人600(540)円 高校生・大学生400(360)円
【常設展との共通券】大人1,000円 高校生・大学生600円
※()内は20名以上の団体割引料金。

※中学生以下、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明証提示)、
障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。

主催 大阪歴史博物館
公益財団法人 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所

特別展

なにわのみや

大阪 難波宮

— 遺跡を読み解くキーワード —

難波宮跡の第1次発掘調査は、前年に見つかった^{しほ}鴟尾の破片を大きなきっかけとして、山根徳太郎博士の主導のもと、昭和29年(1954)2月20日から開始されました。初期の調査では、瓦は見つかるものの、建物跡が見つからず、「難破した宮」、「山根の宮」とも揶揄されました。しかし、関係者の努力のもと、宮殿に関わる掘立柱の発見をきっかけに建物配置が徐々に判明し、昭和36年(1961)に行われた第13次調査では、ついに奈良時代の後期難波宮大極殿跡を発見しました。その結果、長らく幻とされた難波宮跡が、その存在を世に知られることになりました。現在では、飛鳥時代と奈良時代の前・後二時期の宮殿跡が明らかとなっています。

今年は、難波宮の第1次発掘調査が開始されてから60周年となる記念すべき年です。60年にわたる調査は、私たちに知られざる難波宮の姿を示すとともに、日本古代史をも書き換えるような画期的な知見をもたらしました。

本展では、このような長年にわたる調査成果とその発掘史を、この間の上出遺物や当時の記録類、当館所蔵の山根徳太郎博士旧所蔵資料などを用いて、瓦や土器、文字といった簡明なキーワードから読み解きます。展示では難波宮発掘調査の過去と現在を示すとともに、それが未来に向けた、私たち共有の大切な遺産であることを紹介したいと思います。



大極殿跡の全面調査(南から) 昭和45年(1970)



^{しほ}鴟尾
大阪市指定文化財
大阪文化財研究所保管

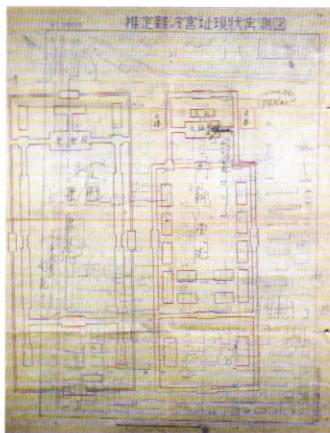


大正2年(1913)に難波宮の瓦を発見した置塩章氏(左)と、昭和29年(1954)から発掘調査を主導した山根徳太郎氏(右) 昭和41年(1966)



実物 赤外線写真 実測図 釈読

万葉仮名文木簡 大阪市指定文化財
大阪文化財研究所保管
※実物展示:6月21日~6月30日
(それ以外はレプリカ展示)



推定難波宮址現状実測図
大阪歴史博物館蔵(濱田百合子氏寄贈)



難波宮跡出土の柱根
公益財団法人 大阪府文化財センター保管
写真提供:公益財団法人 大阪府文化財センター



倒れたままの状態で見つかった築地塀の屋根瓦 昭和36年(1961)

関連行事

■記念シンポジウム「難波宮発掘、その可能性の中心」

60年に及ぶ調査成果は、私たちに多くの知見と謎をもたらしました。ここでは古代都城からみた難波宮発掘の意義を振り返り、今後の調査と研究における可能性について議論したいと思います。

日時:7月5日(土) 午後1時~午後4時30分

(開場は12時30分から)

参加者:相原嘉之氏(明日香村教育委員会文化財課)
網伸也氏(近畿大学文学部文化・歴史学科教授)
箱崎和久氏(奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長)
積山洋(大阪文化財研究所学芸員)

司会:李陽浩(大阪歴史博物館学芸員)

会場:大阪歴史博物館 4階 講堂

定員:250名(事前申し込み)

参加費:300円(特別展の観覧券もしくは半券提示の方は無料)

申込方法:往復ハガキに住所・氏名・連絡先電話番号・返信面に返信先を明記の上、下記にてお申し込みください。ハガキ1枚につき申込者1名様に限ります。

申込先:〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1番32号

大阪歴史博物館「難波宮シンポジウム」係

応募締切:6月13日(金)当日消印有効(応募者多数の場合は抽選)

■見学会「初期の発掘地点を巡るツアー」

難波宮の第1次調査から大極殿が発見された第13次調査まで、少し涼しい夕方の時間に調査地点を歩きながら、調査の進展を追体験したいと思います。

日時:7月25日(金)、8月1日(金) 午後4時30分~午後6時

講師:李陽浩(大阪歴史博物館学芸員)

定員:30名(事前申し込み)

参加費:無料

申込方法:往復ハガキに住所・氏名・連絡先電話番号・返信面に返信先を明記の上、下記にてお申し込みください。ハガキ1枚につき2名まで記名可。なお、同一人の重複応募は不可。

申込先:〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1番32号

大阪歴史博物館「調査地点ツアー」係

応募締切:7月4日(金)当日消印有効(応募者多数の場合は抽選)

■学芸員による展示解説

展示をご覧いただきながら、担当学芸員が代表的な展示品について解説します。

日時と講師:6月28日(土):寺井誠、7月12日(土):伊藤純、

7月21日(月・祝):村元健一、8月9日(土):豆谷浩之、

8月16日(土):李陽浩

各回、午後2時から約30分間

※講師はすべて大阪歴史博物館学芸員

会場:大阪歴史博物館6階 特別展示室

参加費:無料(ただし、ご入場には特別展観覧券が必要)

参加方法:当日直接会場へお越しください。

※関連行事の内容は都合により変更される場合があります。ご了承ください。



地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1番32号
電話 06-6946-5728(代表) FAX 06-6946-2662
http://www.mus-his.city.osaka.jp/